



## 洋画・海外ドラマで英語力UP

植松茂男 摂南大学外国語学部教授

洋画や海外ドラマのDVDは、生きた英語を身につけるのに最適な教材です。ではどんなDVDを選び、どのように使えば英語力が向上するのでしょうか。ここでは、その選び方から効果的な利用法を順に紹介していきます。しっかり続ければ、1日たった30分の練習で、リスニングのみならず、英語力全体がアップします。

### DVD作品を選ぶ

数ある英語の映画・ドラマ作品の中から自分の好きなものを選びます。基本的には、少なくとも過去に一度見て気に入ったものが良いと思います。粗筋を知っていることと、好きであることは学習を持続させるための大きな力になります。いくつかDVDを選んだら、以下の2点をチェックしてください。

#### 1. 音声と字幕

「音声」、「字幕」とも、日本語と英語が選択できるものか確かめます。表示方法は統一されていないので、わかりにくいことがあります。そのような時は、インターネットでDVDレンタル会社や販売元のサイトを調べると、その作品の詳細情報が載っているので利用するとよいでしょう。

#### 2. 聞きやすさ

選んだDVDの中で、英語が聞きとりやすいものを探します。その条件として、以下の3つが挙げられます。

- ▽効果音の少ないもの。アクション映画など会話がよく聞き取れないようなものは不向き
- ▽早すぎず、標準英語ではっきりと発音されているもの
- ▽少しは聞き取ることができる、自分のレベルにあったもの

1本のDVDでこれらすべての条件を満たすものはありませんから、できるだけこのようなシーンが多い作品を選びます。個人的には、少年とシャチが友情を育む物語『フリーウィー』

(ワーナー・ホーム・ビデオ) や、沈みゆく豪華客船を舞台に身分の違う男女の恋を描いた『タイタニック』(20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン) などが会話も早すぎず、内容も難しくないのをお薦めです。

### 学習方法

忙しい毎日でも続けられるように、1回30分のメニューを紹介します。まず始める前に、場面を選びましょう。

#### ●場面選び

DVDが決まったら、聞き取りをするシーンを選びます。もちろん最初から順にやってもよいのですが、前述した「聞き取りやすい」条件を備えた場面なら、どこから始めても構いません。1回の分量としては、30秒前後のワンシーンが適当です。会話の早さや難しさによって長さを変えてもよいです。ここでは、映画『タイタニック』を例に取り説明します。

英語を始めたばかりの人にお薦めなのが、Chapter 5の冒頭30秒の場面です。1912年大西洋に沈没した英国の豪華客船「タイタニック号」から奇跡的に生還した、今や100歳を超える主人公の女性ローズが、同船を調査しているブロックに84年前の船内の様子を語っています。このシーンには、中学校で習う単語や表現が多く使われているので、比較的聞きやすいと思います。

#### ●Chapter 5 (B=ブロック、R=ローズ)

- B:** Tell us, Rose.  
**R:** It's been 84 years.  
**B:** It's OK. Try to remember anything. Anything at all.  
**R:** Do you want to hear this or not, Mr. Lovett?  
**R:** It's been 84 years.  
**R:** And I can still smell the fresh paint.  
**R:** The china had never been used.  
**R:** The sheets had never been slept in.

**R:** Titanic was called "The ship of dreams."

リスニング力にある程度の自信があり、さらなる向上を図りたい人には、Chapter 7の初めのシーンがよいでしょう。ローズが、途中乗船してきた成り金婦人のマーガレット (モリー) ・ブラウンについて説明しています。この場面では come aboard 「乗りこむ」 や、nothing ~ but … 「…以外何もない」 などの表現が学べます。

#### ●Chapter 7 (R=ローズ、M=モリー)

- R:** At Cherbourg, a woman came aboard named Margaret Brown.  
**R:** We all called her Molly.  
**R:** History would call her "The Unsinkable Molly Brown."  
**M:** Hello, I wasn't about to wait all day, sonny. Here, think you can manage?  
**R:** Her husband had struck gold someplace out west.  
**R:** And she was what Mother called "new money."  
**R:** By the next afternoon we were steaming west from the coast of Ireland.  
**R:** With nothing out ahead of us but ocean.

場面が決まったら次の Step 1~3 を、各10分を目安にやってみましょう。

#### ▶▶ Step 1 英語音声、字幕なし (10分)

シーンを選んだら、音声は「英語」、字幕は「なし」に設定して数回再生します。1センテンスごとに「一時停止」をしながら、何を言っているか英語で書き取ってみましょう。わからないところはそのまま空欄にしておきます。ほとんど何も書けなかった場合は、もっと簡単な場面に変更するか、字幕を「英語」に設定し、英語字幕を見てからこの作業に戻っても結構です。

#### ▶▶ Step 2 英語音声、英語字幕 (10分)

音声は「英語」、字幕も「英語」に設定を切り替えて場面を再生します。手元に書き下した文章を用意して、この段階で、聞き間違えた箇所を直したり、空白部分を埋めます。チェックの際、英文だと理解できるのに、聞くと分からなかった部分を中心によく確認します。例えば、「Try to remember anything.」(Chapter 5) の to や、「We all called her Molly.」(Chapter 7) の her などは、動詞と続けて言うため、強く発音しない、ということに気が付けば、リスニングテストで細部を聞き取る力の向上につながりますし、実際の会話にも役に立ちます。

DVDによっては音声と字幕が違うことがありますので、「すべて聞き取ろう」などとあまり神経質になる必要はありません。ただ、字幕と実際に話されて

いる英語が頻繁に異なる場合は、早めに他の作品に変えた方がよいかもしれません。

分からなかった単語や気になるフレーズはノートにメモし、意味を調べましょう。

ここで注意ですが、英語字幕はこのチェックの時以外は必ず隠して下さい。人間は音と文字を同時に提示されると、どうも「読み」が先行してしまって、音に集中しなくなるようです。

#### ▶▶ Step 3 シャドーイング (10分)

最後は「シャドーイング」で仕上げをしましょう。DVD設定は、音声「英語」、字幕「なし」に戻します。シャドーイングとはプロの通訳が行う英語の練習法で、音声を聞こえた通りに口に出します。そのため、ネイティブスピーカーのような、自然なアクセントやイントネーションが学べ、発音の改善につながります。

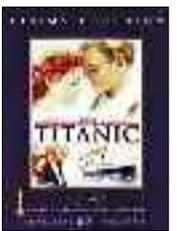
追いつかなくて当たり前ですが、できるだけ聞いたままの音を「物まね」するように再現してみてください。最初は全くついていけませんし、完ぺきに再現するにはよほどゆっくりした会話でないと不可能ですから、7、8割近くまで言えるようになればしめたものです。

上記の3つの練習を、週に2、3回でも継続して行えば、発音やリスニング力も改善されますし、語彙や表現も増えます。この練習を繰り返して、TOEICで配点比率の高いリスニングセクションを中心に点数を大幅にアップした学生さんが私の大学にたくさんいます。中には、最初400点台前半だったのが、2年間で800点台にまで向上した例もありました。

この学習方法は「少しずつ」、「確実に」を基本にします。そのためたった30秒前後のワンシーンを30分もかけて練習するのです。時間のないときは、シャドーイングを繰り返すだけでも効果があります。丁寧にやれば、2時間前後のDVDで、終わるのにほぼ1年はかかるかもしれません。しかし、このたった1枚のDVDが1年間の留学にも劣らぬ英語力の養成を可能にします。さあ、今日から早速DVD英語学習を始めてみませんか。

## “TITANIC”

『タイタニック (アルティメット・エディション)』(3枚組)  
 発売元: 20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン  
 価格: 2990円 (税込)



#### 植松茂男 (うまつつ・しげお)

1957年生まれ。大阪大学文学部卒業。コロンビア大学大学院修了。専門は、言語習得論、英語教授法。著者に『英語学習と臨界期』(松柏社)、共著に『英語指導のスキル』(日本書籍)、『アメリカの蔑視語』(明石書店)などがある。2004年には「DVD映画教材利用時の英語字幕が英語学習に与える影響について」の論文を発表。